

201120033A

厚生労働科学研究補助金

循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業

日本人2型糖尿病患者における生活習慣介入の長期予後効果

並びに死亡率とその危険因子に関する前向き研究

(Japan Diabetes Complications Study; JDCS)

平成23年度 総括研究報告書

研究代表者 曾根 博仁

平成24(2012)年3月

目次

I. 総括研究報告書

日本人2型糖尿病患者における生活習慣介入の長期予後効果
並びに死亡率とその危険因子に関する前向き研究

(Japan Diabetes Complications Study; JDCS)1

研究代表者 曾根 博仁

II. 分担研究報告書

1. 統計解析について—合併症リスクエンジンの妥当性評価—.....19

田中佐智子、田中司朗、大橋 靖雄

2. 網膜症経過観察プログラムについての報告書.....26

山下英俊、川崎良、阿部さち、
田中佐智子、山本禎子、
大橋靖雄

3. 糖尿病腎症の発症・進展に対するライフスタイル介入の
効果に関する報告.....30

片山茂裕、守屋達美

4. 大血管合併症.....40

曾根博仁、田中司朗、
横手幸太郎、松久宗英、
笈田耕治、山田信博

5. 日本人2方糖尿病患者の食事療法の実態について.....47

堀川千嘉、鎌田智英実、奥村亮太、
田中司朗、曾根博仁、吉村幸雄

6. 果物摂取と2型糖尿病患者における
網膜症発症率.....54

吉村幸雄、鎌田智英実、奥村亮太、
田中司朗、堀川千嘉、曾根博仁

7. JDCStudy の問題点とその解決.....59

石橋 俊

8. JDCStudy の問題点とその解決.....62

及川 眞一

9. JDCStudy の問題点とその解決.....63

荒木 厚、井藤 英喜

III. 研究成果の刊行物・別刷.....67

厚生労働科学研究費補助金
(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)
総括研究報告書

日本人2型糖尿病患者における生活習慣介入の長期予後効果
並びに死亡率とその危険因子に関する前向き研究

(Japan Diabetes Complications Study; JDCS)

研究代表者 曾根 博仁 筑波大学

研究分担者

荒木 厚	東京都健康長寿医療センター	片山茂裕	埼玉医科大学
石橋 俊	自治医科大学	山下英俊	山形大学
及川眞一	日本医科大学	山田信博	筑波大学
大橋靖雄	東京大学	吉村幸雄	四国大学

(順不同)

研究協力者

渥美義仁	東京都済生会中央病院	高橋秀夫	みなみ赤塚クリニック
井口登與志	九州大学大学院医学研究院	瀧 秀樹	大阪医療センター
石垣 泰	東北大学大学院医学系研究科	龍野一郎	東邦大学医療センター佐倉病院
石田俊彦	香川大学医学部	田中 明	女子栄養大学
井藤英喜	東京都健康長寿医療センター	古川 昇	熊本大学
井上達秀	静岡県立総合病院	寺内康夫	横浜市立大学大学院
岡本真由美	日本大学医学部	豊島博行	箕面市立介護老人保健施設
岡崎啓明	東京大学医学部附属病院	仲野淳子	済生会福島病院
沖田孝平	大阪大学	中村二郎	名古屋大学大学院
柏木厚典	滋賀医科大学	中村直登	京都府立医科大学医学部
門脇 孝	東京大学医学部附属病院	西川哲男	横浜労災病院
金藤秀明	大阪大学	羽田勝計	旭川医科大学
河合俊英	慶応義塾大学医学部	林 登志雄	名古屋大学
川上正舒	自治医科大学付属さいたま医療センター	番度行弘	福井県済生会病院
川崎英二	長崎大学医学部附属病院	星乃明彦	済生会熊本病院
河津捷二	朝日生命成人病研究所	槇野久士	国立循環器病センター
河盛隆造	順天堂大学医学部	宮川高一	多摩センタークリニックみらい
貴田岡正史	公立昭和病院	宮田 哲	大阪厚生年金病院
小池隆夫	北海道大学大学院医学研究科	森 保道	虎ノ門病院
小杉圭右	大阪警察病院	守屋達美	北里大学医学部
小林 正	富山大学	山田研一	ちば生活習慣病内科クリニック
櫻井健一	千葉大学大学院医学研究院	山田研太郎	久留米大学医学部
佐々木敬	東京慈恵会医科大学	山根公則	広島大学大学院
佐々木秀行	和歌山県立医科大学	吉政康直	国立循環器病センター
佐藤麻子	東京女子医科大学	横手幸太郎	千葉大学
鈴木仁弥	福井大学医学部	若杉隆伸	福井県立病院
鈴木 進	太田西ノ内病院		(順不同)

研究要旨

2型糖尿病とその細小血管合併症（網膜症・腎症・神経障害）ならびに大血管合併症（冠動脈疾患・脳卒中）は、国民の生命・生活の質と医療費に深刻な悪影響を及ぼし続けている。したがってこれらを予防することは、糖尿病治療の最重要目的であり、国民の保健福祉と医療費抑制の観点からも大きな効果を期待できる。本研究は日本全国より2033症例を登録し、日本人糖尿病患者の実態を前向き調査しつつ、患者教育による生活習慣改善を中心的な介入手段とした治療の効果を検討してきた。本年度で、生活習慣介入効果、大血管症、腎症、網膜症に関する主解析論文がほぼ出揃った。いずれも東アジア人糖尿病患者の大規模臨床研究として、欧米人患者とは異なるデータが示されており、日本人患者の診療は日本人のエビデンスに基づいて行う必要があることを如実に示した。現在、各合併症専門グループにより二次解析に基づく論文作成が継続され、今後、さらに多くの結果発表が予定されている。これらはいずれもわが国ならびに東アジアの糖尿病診療とガイドラインに多大な貢献が期待されている。

A. 研究目的

2型糖尿病患者の合併症を予防し、生活の質と健康寿命を確保することは、糖尿病診療の最重要課題であり、その成否は、国民の保健福祉ならびに国民医療費に多大な影響を有する。Japan Diabetes Complications Study (JDACS) は、日常臨床で実施可能な生活習慣改善を中心とした専門医による強化治療が、糖尿病血管合併症を予防できるか否かを検討した世界最初の大規模臨床研究であると共に、日本人2型糖尿病患者の病態的特徴や専門施設の診療実態・治療効果を把握し、合併症を抑制するためのエビデンスを確立することを通じて、患者の予後とQOLの改善に貢献してきた。

従来、欧米を中心に実施されてきた多くの大規模臨床研究のエビデンスは、遺伝的背景やライフスタイルが欧米人とは異なる日本人や東アジア人糖尿病患者にそのまま適用できるか否かは明

らかでなく、日本人患者を対象にした大規模研究による臨床エビデンスの充実が長年切望されてきた。JDACSではこの点について、前向きに追跡調査を進めてきた。

B. 研究方法

調査実施計画の詳細については、平成7年度の本研究報告書が記載されている。事務局は、茨城県水戸市の筑波大学大学院疾患制御医学専攻水戸地域医療教育センターの内分泌代謝糖尿病内科におかれ、東京都文京区湯島の糖尿病データセンターとの共同作業で、データの収集・解析・運営事務などの作業が実施されている。

本研究は日本全国より2033人の外来通院患者を登録し、患者教育による生活習慣改善を中心としたガイドラインに沿った介入の治療効果を検討しつつ、前向きに追跡調査を進めてきた。本研究の対象者は、主治医が積極的に生活

習慣改善を中心とした強化治療を行う「介入群」と、通常の外来診療を継続する「非介入群」に割り付けられており、両群間で、血糖やその他の臨床指標のコントロールや合併症などについて差があるかどうかを検討している。介入群の患者には、体重、血糖、血圧、血清脂質、飲酒・喫煙などについて「治療到達目標」が設定されており、主治医も患者もこれを到達するように努力している。各学会の診療ガイドラインの厳格化にともない、JDCSにおいても、「治療到達目標」が改訂強化されている。各合併症の診断基準は予めプロトコルで定められており、それぞれ専門家の判定委員により判定されている。登録症例のすべてのデータは、上記の糖尿病データセンターにおいて一元的に保護管理・データベース化され、疫学統計の専門家による解析や効果判定を実施している。

(倫理面への配慮)

本研究はすでに倫理委員会の審査を受けて許可されており、すべての対象者においてインフォームドコンセントが十分なされ、同意書が得られている。従来の欧米の大規模臨床介入試験のように、非介入群をコントロール不良のまま観察することは倫理的配慮から避け、両群において内服薬やインスリンなどの変更は妨げず、非介入群についても治療目標を達成するように、通常の外来管理を継続している。また介入自体も、薬剤やインスリンによる介入と比較して安価で、低血糖などの副作用がないという点でも安全性に優れている。実際に開始後現在までの間、倫

理的問題を生じた事例はない。

C. 研究結果と考察

本年度の研究結果の詳細は、本書において各分担研究者より報告されている。本年までに、生活習慣介入の合併症抑制効果、腎症、網膜症、大血管症についての概要をまとめた主解析論文が、いずれも、欧州、米国の糖尿病あるいは内分泌学会誌に受理掲載され、東アジアの糖尿病に対する欧米も含めた世界的な注目度の高さを示した。その中には、大血管合併症のリスクファクターとしての血清トリグリセリド値の重要性など、欧米とは異なる日本人糖尿病患者のこれまで知られていなかったデータの他、喫煙が顕性糖尿病腎症のリスクであることや、すでに単純性網膜症を持つ患者の、それ以上のステージへの網膜症増悪率など、アジア欧米を問わず従来知られていなかった新しいエビデンスも含まれる。そのほかの合併症についても解析が続けられており、今後さらに新しいエビデンスの追加が見込まれている。

D. 結論

日本のみならず東アジアを代表する糖尿病患者データベースとなった本研究は、欧米人とは異なる多くの糖尿病診療エビデンスを生み出してきたが、今後も多くの解析が予定されており、将来の糖尿病診療に大きく貢献することが期待される。

E. 健康危険情報

該当事項なし

F. 研究発表

原著

- 1) Heianza Y, Arase Y, Fujiwara K, Hsieh SD, Saito K, Tsuji H, Kodama S, Yahagi N, Shimano H, Yamada N, Hara S, Sone H. Longitudinal trajectories of HbA1c and fasting plasma glucose levels during the development of type 2 diabetes: TOPICS 7. *Diabetes Care* (in press)
- 2) Yokoyama H, Araki S, Haneda M, Matsushima M, Kawai K, Hirao K, Oishi M, Sugimoto K, Sone H, Maegawa H, Kashiwagi A, on behalf of Japan Diabetes Clinical Data Management Study Group. Chronic kidney disease categories and renal- cardiovascular outcomes in type 2 diabetes without prevalent cardiovascular disease: a prospective cohort study. *Diabetologia* (in press)
- 3) Kodama S, Saito K, Tanaka S, Horikawa C, Fujiwara K, Hirasawa R, Yachi Y, Sone Y, Tada Iida K, Shimano H, Ohashi Y, Yamada N, Sone H. Fasting and post-challenge glucose as quantitative cardiovascular risk factors: A meta-analysis. *J Atheroscler Thromb* (in press)
- 4) Heianza Y, Arase Y, Fujihara K, Tsuji H, Saito H, Hsieh SD, Kodama S, Shimano H, Yamada N, Hara S, Sone H. High normal HbA1c levels were associated with impaired insulin secretion without escalating insulin resistance in Japanese individuals: The Toranomon Hospital Health Management Center Study 8 (TOPICS 8). *Diabet Med* (in press)
- 5) Iwasaki H, Naka A, Iida K, Nakagawa Y, Matsuzaka T, Ishii KA, Kobayashi K, Takahashi A, Yatoh S, Yahagi N, Sone H, Suzuki H, Yamada N, Shimano H. TFE3 Regulates Muscle Metabolic Gene Expression, Increases Glycogen Stores, and Enhances Insulin Sensitivity in Mice. *Am J Physiol Endocrinol Metab* (in press)
- 6) Yokoyama S, Yamashita S, Ishibashi S, Sone H, Oikawa S, Shirai K, Ohta T, Bujo H, Kobayashi J, Arai H, Harada-Shiba M, Eto M, Hayashi T, Gotoda T, Suzuki H, Yamada N. Background to Discuss Guidelines for Control of Plasma HDL-Cholesterol in Japan. *J Atheroscler Thromb* (in press)
- 7) Kodama S, Saito K, Tanaka S, Horikawa C, Fujiwara K, Hirasawa R, Yachi Y, Iida KT, Shimano H, Ohashi Y, Yamada N, Sone H. Effect of Web-based Lifestyle Modification on Weight Control: A Meta-analysis. *Int J Obes* (in press)
- 8) Sone H, Tanaka S, Tanaka S, Iimuro S, Ishibashi S, Oikawa S, Shimano H, Katayama S, Ohashi Y, Akanuma Y, Yamada N. Comparison of Various Lipid Variables as Predictors of Coronary Heart Disease in Japanese Men and Women with Type 2 Diabetes. Sub analysis of the Japan Diabetes Complications Study (JDACS). *Diabetes Care* (in press)
- 9) Arai H, Ishibashi S, Bujo H, Hayashi T, Yokoyama S, Oikawa S, Kobayashi J, Shirai K, Ota T, Yamashita S, Gotoda T, Harada-Shiba M, Sone H, Eto M, Suzuki H, Yamada N. Management of Type IIb Dyslipidemia. *J Atheroscler Thromb* 19:105-14, 2012

- 10) Heianza Y, Hara S, Arase Y, Saito K, Tsuji H, Kodama S, Hsieh SD, Mori Y, Okubo M, Yamada N, Kosaka K, Sone H. Impact of introducing HbA1c into the diagnostic criteria on prevalence and cardiovascular risk profiles of individuals with newly diagnosed diabetes in Japan: The Toranomon Hospital Health Management Center Study 2 (TOPICS 2). *Diabet Res Clin Prac* 95:283-290, 2012
- 11) Gotoda T, Shirai K, Ohta T, Kobayashi J, Yokoyama S, Oikawa S, Bujo H, Ishibashi S, Arai H, Yamashita S, Harada- Shiba M, Eto M, Hayashi T, Sone H, Suzuki H, Yamada N ; Research Committee for Primary Hyperlipidemia, Research on Measures against Intractable Diseases by the Ministry of Health, Labour and Welfare in Japan. Diagnosis and management of type I and type V hyperlipoproteinemia. *J Atheroscler Thromb*, 19:1-12, 2012
- 12) Sugawara A, Sato M, Totsuka K, Saito K, Kodama S, Fukushi A, Yamanashi Y, Matsushima E, Fujiwara Y, Suzuk E, Kondo K, Yamamoto Y, Sone H. Factors associated with inappropriate weight loss attempts by early adolescent girls in Japan. *Eat Weight Dis* 16: e157-e163, 2011
- 13) Sone H, Tanaka S, Tanaka S, Iimuro S, Oida K, Yamasaki Y, Oikawa S, Ishibashi S, Katayama S, Ohashi Y, Akanuma Y, Yamada N. Serum Level of Triglycerides is a Potent Risk Factor Comparable to LDL Cholesterol for Coronary Heart Disease in Japanese Patients with Type 2 Diabetes. Subanalysis of the Japan Diabetes Complications Study (JDCS). *J Clin Endocrinol Metab.* 96:3448-56, 2011
- 14) Yokoyama H, Matsushima M, Kawai K, Hirao K, Oishi M, Sugimoto H, Takeda H, Minami M, Kobayashi M, Sone H. Low incidence of cardio-vascular events in Japanese patients with Type 2 diabetes in primary care settings: a prospective cohort study (JDDM 20). *Diabet Med.* 2011 28:1221-8.
- 15) Totsuka K, Maeno T, Saito K, Kodama S, Asumi M, Yachi Y, Hiranuma Y, Shimano H, Yamada N, Ono Y, Naito T, Sone H. Self-reported fast eating is a potent predictor of development of impaired glucose tolerance in Japanese men and women: Tsukuba Medical Center Study. *Diabetes Res Clin Pract*, 94: e72-e74, 2011
- 16) Hayashi T, Kawashima S, Nomura H, Itoh H, Watanabe H, Ohru T, Yokote K, Sone H, Hattori Y, Yoshizumi M, Ina K, Kubota K. Age, gender, insulin and blood glucose control status alter the risk of ischemic heart disease and stroke among elderly diabetic patients. *Cardiovasc Diabetol.* 10:86, 2011
- 17) Horikawa C, Kodama S, Yachi Y, Heianza Y, Hirasawa R, Ibe Y, Saito K, Shimano H, Yamada N, Sone H. Skipping Breakfast and Prevalence of Overweight and Obesity in Asian and Pacific

- Regions: A Meta- analysis. *Prev Med* 53:260-7,2011
- 18) Hirasawa R, Saito K, Yachi Y, Ibe Y, Kodama S, Asumi M, Horikawa C, Saito A, Heianza Y, Sato K, Kondo K, Shimano H, Sone H. Quality of Internet information related to the Mediterranean diet. *Pub Health Nut* 19:1-9, 2011
- 19) Nakagami T, Nishimura R, Sone H, Tajima N. Accumulation of cardiovascular risks in Japanese women with abnormal glucose and mild to moderate hypercholesterolemia. *Int J Cardiol* 153:238, 2011
- 20) Saito R, Matsuzaka T, Karasawa T, Sekiya M, Okada N, Igarashi M, Matsumori R, Ishii K, Nakagawa N, Kobayashi K, Yatoh S, Takahashi A, Sone H, Suzuki H, Yahagi N, Yamada N, Shimano H. Macrophage Elovl6 deficiency ameliorates foam cell formation and reduces atherosclerosis in low-density lipoprotein receptor-deficient mice. *Arterioscler Thromb Vasc Biol.* 31:1973-9, 2011
- 21) Yokoyama H, Sone H, Saito K, Yamada D, Honjo J, Haneda M. Flow-Mediated Dilation is Associated with Microalbuminuria Independent of Cardiovascular Risk Factors in Type 2 Diabetes. – Inter relations with Arterial Thickness and Stiffness. *J Atheroscler Thromb.* 18:744-52, 2011
- 22) Kawasaki R, Tanaka S, Tanaka S, Yamamoto T, Sone H, Ohashi Y, Akanuma Y, Yamada N, Yamashita Y, on behalf of the Japan Diabetes Complications Study Group. Incidence and progression of diabetic retinopathy in Japanese adults with type 2 diabetes: 8 year follow-up study of the Japan Diabetes Complications Study (JDACS). *Diabetologia* 54:2288–2294, 2011 (DOI 10.1007/s00125-011-2199-0)
- 23) Nishimura R, Nakagami T, Sone H, Ohashi Y, Tajima N. Relationship between hemoglobin A1c and cardiovascular disease in mild-to-moderate hypercholesterolemic Japanese individuals: subanalysis of a large-scale randomized controlled trial. *Cardiovasc Diabetol* 10: 58, 2011
- 24) Heianza Y, Hara S, Arase Y, Saito K, Fujiwara K, Tsuji H, Kodama S, Hsieh SD, Mori Y, Shimano H, Yamada N, Kosaka K, Sone H. HbA1c 5.7-6.4% and impaired fasting plasma glucose for diagnosis of prediabetes and risk of progression to diabetes in Japan (TOPICS 3): a longitudinal cohort study. *Lancet* 378: 147-55, 2011.
- 25) Nakata Y, Okada M, Hashimoto K, Harada Y, Sone H, Tanaka K. Comparison of education-only versus group-based intervention in promoting weight loss: A randomised controlled trial. *Obesity Facts* 4:222–228 , 2011
- 26) Yachi Y, Tanaka Y, Anasako Y, Nishibata I, Saito K, Sone H. Contribution of First Trimester Fasting Plasma Insulin Levels to the Incidence of Glucose Intolerance in Later Pregnancy: Tanaka Women's Clinic Study. *Diabetes Res Clin Pract.* 92:293-8, 2011

- 27) Yokoyama H, Kanno S, Takahashi S, Yamada D, Honjo J, Saito K, Sone H, Haneda M. Risks for glomerular filtration rate decline in association with progression of albuminuria in type 2 diabetes. *Nephrol Dial Transplant* 26:2924-30, 2011
- 28) Katayama S, Moriya T, Tanaka S, Tanaka S, Yajima Y, Sone H, Iimuro S, Ohashi Y, Akanuma Y, Yamada N. Low Transition Rate from Normo- and Low Microalbuminuria to Proteinuria in Japanese Type 2 Diabetics: the Japan Diabetes Complications Study (JDACS). *Diabetologia* 54:1025-31, 2011
- 29) Heianza Y, Hara S, Arase Y, Saito K, Totsuka K, Tsuji H, Kodama S, Hsieh SD, Yamada N, Kosaka K,

総説

- 1) 曾根博仁. 糖尿病とがん *Medical View Point* 33(2):5, 2012
- 2) 曾根博仁. 厳格な血糖コントロールは糖尿病腎症 (CKD) の発症・進展を抑制できるか? *臨床透析* 28(2):157-164, 2012
- 3) 曾根博仁, 山田信博. 糖尿病と動脈硬化—疫学的知見. *動脈硬化予防* 10(4):5-13, 2011
- 4) 児玉暁, 曾根博仁. 動脈硬化と運動・身体活動—予防・改善のための取り組み— 疫学研究 *運動と動脈硬化の疫学 臨床スポーツ医学* 28:1311-1316, 2011
- 5) 曾根博仁, 片山茂裕, 山下英俊, 赤沼安夫, 山田信博. 日本人糖尿病患者の実態—JDACS. 診断と治療 99:1805-1812, 2011
- Sone H. Low Serum Potassium Levels and Risk of Type 2 Diabetes: Toranomon Hospital Health Management Center Study 1 (TOPICS 1). *Diabetologia* 54:762-766, 2011
- 30) Kodama S, Saito K, Tanaka S, Horikawa C, Saito A, Heianza Y, Anasako Y, Nishigaki Y, Yachi Y, Iida KT, Ohashi Y, Yamada N, Sone H. Alcohol Consumption and Risk of Atrial Fibrillation: A Meta-analysis. *J Am Coll Cardiol* 57:427-36, 2011.
- 31) Yokoyama H, Sone H, Yamada D, Honjo J, Haneda M. Contribution of glimepiride to basal-prandial insulin therapy in patients with type 2 diabetes. *Diabetes Res Clin Pract* : 91:148-53, 2011
- 6) 児玉暁, 曾根博仁. Webを使用した減量指導効果のエビデンス. *肥満と糖尿病* 10:921-924, 2011
- 7) 曾根博仁, 川崎良, 山下英俊. 特集: 糖尿病網膜症—診断と治療の将来展望— 糖尿病網膜症への内科的アプローチ *PRACTICE* 28:575-584, 2011
- 8) 菅原歩美, 曾根博仁. わが国におけるメタボリックシンドロームのエビデンスと診断基準 *栄養医学雑誌* 69:205-213, 2011
- 9) 片山茂裕, 守屋達美, 田中司朗, 大橋靖雄, 曾根博仁. コホート研究からの最新知見: JDACS (Japan Diabetes Complications Study) *医学のあゆみ* 238:829-832, 2011

- 10) 平安座依子, 曾根博仁. 米国糖尿病学会の新しいPre-diabetes (前糖尿病状態) 診断基準におけるHbA1c(国際基準値)5.7~6.4%と空腹時血糖値異常による糖尿病発症の予測. 肥満と糖尿病 10:771-776, 2011
- 11) 藤原和哉, 曾根博仁. 糖尿病・耐糖能異常. 循環器内科 70:148-156, 2011
- 12) 谷内洋子, 田中康弘, 曾根博仁. 妊娠中の耐糖能異常と周産期予後—妊娠中の耐糖能異常スクリーニング— 肥満と糖尿病 10:631-634, 2011
- 13) 曾根博仁. 糖尿病と脳卒中 疫学の面から予防法を探る. 糖尿病合併症 25:71-79, 2011
- 14) 曾根博仁, 菅原歩美. 生活習慣病に対する食育指導—特に日本人女性のやせ過ぎを中心に—. 成人病と生活習慣病 41:568-572, 2011
- 15) 曾根博仁. 動脈硬化の予防と治療—糖尿病. 日老医誌 48:253-256, 2011
- 16) 菅原歩美, 曾根博仁. 若年女性の減量行動とその関連因子. 肥満と糖尿病 63:490-492, 2011
- 17) 藤原和哉, 曾根博仁. 糖尿病奨励に対するLDLコレステロール(C)管理基準値:現行のガイドライン(120/100mg/dl)でよいか? 内分泌・糖尿病・代謝内科 32:370-379, 2011
- 18) 藤原和哉, 曾根博仁. 動脈硬化症と脂質異常症の理解のために糖尿病が果たす役割. Medicina 48:734-738, 2011
- 19) 曾根博仁. 糖尿病大血管合併症の現状と課題. 日本糖尿病眼学会誌15:18-22, 2011
- 20) 曾根博仁. 糖尿病—エーワンシー(HbA1c)で早期発見コントロール—. 東京都糖尿病協会会報 6:2, 2011
- 21) 曾根博仁, 菅原歩美, 谷内洋子. 日本人女性のBMIとやせの現状. 茨城県母性衛生学会誌 29:19-24, 2011
- 22) 曾根博仁. 我が国の糖尿病患者における心血管病の発症とそのリスクをみる—欧米人との比較を含めて. Vascular Medicine 7:2-9, 2011
- 23) 平安座依子, 原茂子, 荒瀬康司, 山田信博, 曾根博仁. 血清カリウム低値と2型糖尿病発症リスク. 肥満と糖尿病 10:284-287, 2011
- 24) 曾根博仁, 山田信博, 赤沼安夫. 日本人2型糖尿病患者における大血管合併症の疫学. 糖尿病 54:2-5, 2011.
- 25) 曾根博仁. わが国の糖尿病大血管症の現状. Pharma Medica 29(2):9-15, 2011.
- 26) 曾根博仁. 我が国の臨床疫学研究 JDCSの成果:何を診るか?. Heart View 15:224-228, 2011.
- 27) 児玉暁, 曾根博仁. 飲酒と心房細動リスクの関連. 肥満と糖尿病 10:144-147, 2011.

著書

- 1) 曾根博仁. 12 生活習慣病と食生活Ⅲ 動脈硬化とその他の生活習慣病. 改訂 食と健康 (NHK出版) pp206-230, 2012
- 2) 曾根博仁. 11 生活習慣病と食生活Ⅱ 糖尿病. 改訂 食と健康 (NHK出版) pp185-205, 2012
- 3) 曾根博仁. 10 生活習慣病と食生活Ⅰ 肥満とやせ・メタボリックシンドローム. 改訂 食と健康 (NHK出版) pp168-184, 2012
- 4) 齋藤あき、曾根博仁. 糖化蛋白. 救急・集中治療別冊「急性期患者の糖代謝とSCCM/ASPEN栄養管理ガイドライン」
- 5) 曾根博仁. メタボリックシンドローム. 今日の治療指針 私はこう治療している (医学書院) pp638-639, 2011
- 6) 曾根博仁, 片山茂裕, 山下英俊, 赤沼安夫, 山田信博. 糖尿病診療に必要な知識 1 2型糖尿病の血管合併症—JDCSの成果. 糖尿病学の進歩2011 第45集(診断と治療社) pp1-7, 2011
- 7) 曾根博仁. TOPICS 日本人の糖尿病は変化しているのか. スマートな糖尿病診断と治療の進め方 (中山書店) pp23-27, 2011
- 8) 曾根博仁. 運動療法の評価方法. 糖尿病運動療法指導マニュアル (南江堂) pp63-66, 2011
- 9) 大沢功, 佐藤祐造, 鈴木進, 曾根博仁, 田中司朗, 内野泰, 田村好史, 牧田茂. 患者ごとの運動指針 b特別な状況に応じた運動指導. 糖尿病運動療法指導マニュアル (南江堂) pp37-42, 2011
- 10) 藤沼宏彰, 鈴木進, 曾根博仁. 患者ごとの運動指針 a. 患者における具体的な運動指導の実際. 糖尿病運動療法指導マニュアル (南江堂) pp28-37
- 11) 曾根博仁. 運動療法の実施状況. 糖尿病運動療法指導マニュアル (南江堂) pp10-11
- 12) 曾根博仁. 脂質異常症—高LDLコレステロール血症. 今日の治療指針2011 (医学書院) pp646-649, 2011.
- 13) 曾根博仁. 疫学的研究から見た糖尿病とメタボリックシンドロームとの関係. 日本臨床 69増刊号(日本臨床社) 1:93-100, 2011

招待講演・シンポジウム

- 1) 曾根博仁. 世界と日本の大規模研究からわかったことJDCS. 第46回糖尿病学の進歩. 2012.3.2 (盛岡)
- 2) 曾根博仁. 糖尿病の大規模臨床エビデンスを日常診療にどう活かすか? Diabetes Care Forum 2012.2.18 (大阪)
- 3) 曾根博仁. 糖尿病の病診連携とチーム医療. 三水会2月例会 2012.2.15 (ひたちなか)
- 4) 曾根博仁. 日本人2方糖尿病の合併症—Japan Diabetes Complications Studyの最新データを含めて. 第46回透水会 2012.2.2 (大阪)

- 5) 曾根博仁. 合併症を見据えた糖尿病治療 -DPP-4阻害薬への期待を含めて-. 東葛地区講演会 2011.12.12 (柏)
- 6) 曾根博仁. 日本人2型糖尿病とその合併症の臨床エビデンス. DMアカデミー. 2011.12.9 (広島)
- 7) 曾根博仁. 糖尿病と動脈硬化-わが国の現状と対策- 明日の動脈硬化予防を考えるシンポジウム. 2011.11.26 (柏)
- 8) 吉田 怜, 渡辺重行, 曾根博仁, 小林裕幸, 外山昌弘, 藤原和哉, 万本 健生, 吉田和歌子, 中川義嗣. 当院における糖尿病及び生活習慣病治療の現状と展望~運動療法部門設立を通じて~ 第6回 茨城心臓大血管リハビリテーション・運動生理研究会 2011.11.24 (水戸)
- 9) 曾根博仁. わが国における2型糖尿病とその合併症の現況. 糖尿病アカデミー. 2011.11.17 (横浜)
- 10) Sone H. HbA1c variability as a risk of microvascular complication in diabetes. 2011 International Conference on Diabetes and Metabolism. 2011.11.12 (Seoul, Korea)
- 11) 曾根博仁. 日本の糖尿病の10年、これからの10年. 第10回東京糖尿病療養指導セミナー 2011.10.29 (東京)
- 12) 曾根博仁. 日本人糖尿病患者の脂質異常症のエビデンス. つくば度脈硬化予防・治療フォーラム 2011-日本人における脂質管理のあり方-2011.10.26 (つくば)
- 13) 曾根博仁. 教育講演 JDCSから見たわが国の糖尿病大血管障害の特徴 平成23年度糖尿病大血管障害研究報告会 2011.10.15 (さいたま市)
- 14) 曾根博仁. 特別講演 糖尿病と動脈硬化疾患-わが国の現状と治療戦略を探る-. 6th Stroke Oriented研究会. 2011.8.27 (京都)
- 15) 曾根博仁. 教育講演 第二部 糖尿病の連携体制 「糖尿病の地域連携」 第20回茨城県糖尿病療養指導士研修会 2011.7.24 (水戸市)
- 16) 曾根博仁. シンポジウム6 Atherosclerosis in Diabetes -Search for New Therapeutic Strategies-糖尿病と動脈硬化-新しい治療戦略を探る- 「Messages from the Japan Diabetes Complications Study (JDCS)」 第43回日本動脈硬化学会総会・学術集会 2011.7.16 (札幌)
- 17) 曾根博仁. ランチョンセミナー 53 JDCにみる糖尿病の合併症予防のエッセンス. 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011.5.21 (札幌)
- 18) 曾根博仁. シンポジウム7 日本人における疾患の予防・治療と栄養疫学のエビデンス 第65回日本栄養・食糧学会 2011.5.15 (東京)

国際学会発表

- 1) Sato Y, Sone H, Kobayashi M, Kawamori R, Atsumi Y, Oshida Y, Tanaka S, Suzuki S, Makita S, Ohsawa I, Tamura Y, Watanabe T. Current situation of exercise therapy in Japan from the viewpoint of patients with diabetes mellitus. International Diabetes Federation World Diabetes Congress. 2011, 12, 4
- 2) Nishimura R, Sone H, Nakagami T, Tajima N. Importance of the HDL control under treatment of pravastatin in hypercholesterolemic Japanese with type2 diabetes mellitus. 16th International Symposium on Atherosclerosis 2012.3.25 (Sydney, Australia)
- 3) Abe S, Tanaka S, Yamamoto T, Ohashi Y, Sone H, Yamada N, Yamashita H. Association between the severity of diabetic retinopathy and the incidence of the macro vascular diseases onset: 8-year follow-up study of the Japan Diabetes Complications Study (JDCCS) Diabetic retinopathy and macrovascular diseases. 4th Annual Meeting of the D&CVD EASD Study Group. 2011. 10. 27 (Munich, Germany)
- 4) Oishi M, Yokoyama H, Kawai K, Hirao K, Takeda H, Minami M, Sugimoto H, Sone H, Matsushima M, Kashiwagi A, Japan Diabetes Clinical Data Management study group. Lower incidence of cardiovascular events in a recently recruited cohort of Japanese type 2 patients in primary care settings. Diabetologia 54:suppl1 s7
- 5) Sone H, Nishimura R, Nakagami T, Tajima N, MEGA Study Group. Comparison of lipid variables to predict cardiovascular disease in Japanese hypercholesterolaemic patients with and without type 2 diabetes mellitus 47th EASD Annual Meeting 2011.9.13 (Lisbon, Portugal) Diabetologia 54:suppl1 s278
- 6) Yokoyama H, Matsushima M, Kawai K, Oishi M, Hirao K, Sugimoto H, Sone H, Araki SI, Kashiwagi A, JDDM Study Group. CKD categories by KDIGO and the progression in GFR, albuminuria, and cardiovascular disease in type 2 diabetes without prevent cardiovascular disease: prospective cohort study 47th EASD Annual Meeting 2011.9.13 (Lisbon, Portugal) Diabetologia 54:suppl1 s437
- 7) Heianza Y, Hara S, Horikawa C, Saito K, Sugawara A, Fujiwara K, Kodama S, Hsieh SD, Tsuji H, Shimano H, Yamada N, Arase Y, Sone H. Potential impact of elevated HbA1c and impaired fasting glucose on population for predicting risk of diabetes: The Toranomon Hospital Health Management Center Study 47th EASD Annual Meeting 2011.9.13 (Lisbon, Portugal) Diabetologia 54:suppl1 s368
- 8) Hara S, Heianza Y, Fujiwara K, Tsuji H, Hsieh SD, Kodama S, Saito K, Arase Y, Yamada N, Sone H. Impact of introducing HbA1c into the diagnostic criteria

- and cardio vascular risk profiles of individuals with newly diagnosed diabetes 47th EASD Annual Meeting 2011.9.13 (Lisbon, Portugal) Diabetologia 54:suppl1 s131
- 9) Horikawa C, Heianza Y, Hara S, Arase Y, Saito K, Fujiwara K, Sugawara A, Tsuji H, Kodama S, Hsieh SD, Shimano H, Yamada N, Sone H. Screening using various cutoffs of HbA1c and impaired fasting plasma glucose for predicting future diabetes: The Toranomon hospital health management center study. 47th EASD Annual Meeting 2011.9.13 (Lisbon, Portugal) Diabetologia 54:suppl1 s142
 - 10) Yachi Y, Horikawa C, Heianza Y, Sugawara A, Saito A, Fujiwara K, Nishibata I, Yasuhara M, Kobayashi K, Kodama S, Saito K, Tanaka Y, Sone H . Low BMI at age 20 years predicts gestational diabetes independent of BMI in early pregnancy: Tanaka Women's Clinic Study 47th EASD Annual Meeting 2011.9.13 (Lisbon, Portugal) Diabetologia 54:suppl1 s479
 - 11) Horikawa C, Kodama S, Heianza Y, Saito A, Hirasawa R, Sugawara A, Totsuka K, Maki M, Saito K, Sone H . Diabetes and Risk of Hearing Impairment: A Meta-analysis. 71th American Diabetes Association Scientific Sessions 2011.6.25 (San Diego, USA)
 - 12) Sugawara A, Kawai K, Motohashi S, Fujiwara K, Hirasawa R, Igawa K, Kobayashi K, Saito K, Yamazaki K, Sone H . HbA1c variability and risk of development of microalbuminuria in Japanese patients with type 2 diabetes: a pilot study, Tsukuba Kawai Diabetes Registry³. 71th American Diabetes Association Scientific Sessions 2011.6.25 (San Diego, USA)
 - 13) Kodama S, Horikawa C, Heianza Y, Sugawara A, Ibe Y, Yachi Y, Maki M, Shu M, Saito K, Sone H. Is the waist-to-stature ratio a better predictor than other anthropometric indicators to predict future diabetes risk? A meta-analysis. 71th American Diabetes Association Scientific Sessions 2011.6.25 (San Diego, USA)
 - 14) Fujihara K, Suzuki H, Sato A, Heianza Y, Kodama S, Saito K, Kobayashi K, Takahashi A, Yatou S, Nobuhiro Y , Sone H, Shimano H. Evaluation of clinical predictors of vulnerable coronary plaque detected by CT angiography in asymptomatic patients with type 2 diabetes (T2DM). 71th American Diabetes Association Scientific Sessions 2011.6.25 (San Diego, USA)
 - 15) New HbA1c 5.7-6.4% Criterion and Impaired Fasting Plasma Glucose To Identify Pre-Diabetes and Predict Risk of Diabetes in Japan (TOPICS). 71th American Diabetes Association Scientific Sessions 2011.6.25 (San Diego, USA)
 - 16) Horikawa C, Yoshimura Y, Nishigaki Y, Tanaka S, Tanaka S, Kamada C, Okumura R, Ito H,

Ohashi Y, Yamada N, Sone H, Japan Diabetes Complication Study Group. Dietary intake in Japanese patients with type 2 diabetes: Japan Diabetes Complication Study (JDACS). 71th American Diabetes Association Scientific Sessions 2011.6.25 (San Diego, USA)

17) Yoshizawa S, Heianza Y, Fujihara

K, hara S, Saito K, Tsuji H, Kodama S, Arase Y, Yamada N, Kosaka K, Sone H. Weight History as a screening tool for identifying undiagnosed diabetes and pre-diabetes in Japanese men (TOPICS). 71th American Diabetes Association Scientific Sessions 2011.6.25 (San Diego, USA)

国内学会発表

- 1) 藤原和哉, 宜保英彦, 小林和人, 高橋昭光, 矢藤繁, 鈴木浩明, 島野仁, 山田信博, 曾根博仁. 震災時の精神的ストレスが血糖に与える影響. 第20回臨床内分泌代謝:Update 2012. 1. 27 (浜松)
- 2) 菅原歩美, 川井紘一, 齋藤和美, 本橋しのぶ, 島野仁, 山田信博, 曾根博仁. HbA1cの変動が微量アルブミン尿発症に及ぼす影響の検討. 第22回日本疫学会学術総会 2012. 1. 26 (東京)
- 3) 堀川千嘉, 児玉暁, 菅原歩美, 平安座依子, 由澤咲子, 齋藤あき, 伊部陽子, 平澤玲子, 谷内洋子, 齋藤和美, 曾根博仁. 成人における糖尿病と難聴の関連性:メタアナリシスにおける評価. 第22回日本疫学会学術総会 2012. 1. 26 (東京)
- 4) 平安座依子, 荒瀬康司, 辻裕之, 齋藤和美, 藤原和哉, 謝勲東, 児玉暁, 山田信博, 原茂子, 曾根博仁. 2型糖尿病発症10年間のHbA1c値の変化: TOPICS.

第22回日本疫学会学術総会
2012. 1. 26 (東京)

- 5) 平安座依子, 原茂子, 謝勲東, 児玉暁, 辻裕之, 藤原和哉, 由澤咲子, 伊部陽子, 齋藤和美, 山田信博, 荒瀬康司, 曾根博仁. 異なる空腹時血糖値異常とHbA1c高値の判定基準を用いた2型糖尿病予測スクリーニング精度の比較: TOPICS. 第22回日本疫学会学術総会 2012. 1. 26 (東京)
- 6) 堀川千嘉, 児玉暁, 菅原歩美, 平安座依子, 由澤咲子, 齋藤あき, 伊部陽子, 平澤玲子, 谷内洋子, 齋藤和美, 曾根博仁. 成人における糖尿病と難聴の関連性:メタアナリシスにおける評価. 第22回日本疫学会学術総会 2012. 1. 26 (東京)
- 7) 平安座依子, 原茂子, 謝勲東, 齋藤和美, 辻裕之, 菅原歩美, 齋藤あき, 児玉暁, 荒瀬康司, 山田信博, 曾根博仁. 2型糖尿病発症予測に最適なHbA1cと空腹時血糖値の閾値の組み合わせの検討: TOPICS. 第46回日本成人

- 病学会学術集会 2012. 1. 15
(東京)
- 8) 児玉暁, 堀川千嘉, 平安座依子, 菅原歩美, 平澤玲子, 谷内洋子, 齋藤和美, 田中司朗, 大橋靖雄, 曾根博仁. 糖尿病診断および予測能におけるグリコヘモグロビンA1cと空腹時血糖のメタ解析. 第46回日本成人病学会学術集会 2012. 1. 15 (東京)
 - 9) 平澤玲子, 谷内洋子, 伊部陽子, 由澤咲子, 堀川千嘉, 齋藤あき, 平安座依子, 菅原歩美, 戸塚久美子, 齋藤和美, 児玉暁, 曾根博仁. “Healthy diet”に関する国際的ウェブ情報のクオリティの検証. 第46回日本成人病学会学術集会 2012. 1. 14 (東京)
 - 10) 菅原歩美, 湯原淳良, 大石まり子, 杉本英克, 横山宏樹, 屋宜宣治, 岡田朗, 岩崎皓一, 宮澤一裕, 奥口文宣, 嵩文彦, 齋藤あき, 西垣結佳子, 川井紘一, 曾根博仁. 2型糖尿病における知識と負担感との関連の検討. 第46回日本成人病学会学術集会 2012. 1. 14 (東京)
 - 11) 谷内洋子, 田中康弘, 西端泉, 菅原歩美, 安原眞知子, 小林香織, 松岡隆, 児玉暁, 齋藤和美, 曾根博仁. 健常妊婦における低出生体重児出産リスク因子の検討(TWC Study). 第46回日本成人病学会学術集会 2012. 1. 14 (東京)
 - 12) 平安座依子, 謝勲東, 原茂子, 辻裕之, 藤原和哉, 堀川千嘉, 谷内洋子, 児玉暁, 山田信博, 荒瀬康司, 曾根博仁. HbA1cを導入した新しい2型糖尿病予測スコアリングシステムの開発. 第46回日本成人病学会学術集会 2012. 1. 14 (東京)
 - 13) 平安座依子, 荒瀬康司, 辻裕之, 齋藤和美, 藤原和哉, 謝勲東, 児玉暁, 山田信博, 原茂子, 曾根博仁. 2型糖尿病発症前のHbA1c値と空腹時血糖値の変化に関する大規模縦断的検討. 第46回日本成人病学会学術集会 2012. 1. 14 (東京)
 - 14) 鈴木美佑希, 高橋直穂, 菅野咲子, 奥田昌恵, 山下りさ, 山田大志郎, 本庄潤, 曾根博仁, 清水平, 横山宏樹. DPP4阻害薬開始に伴う効果—SU剤併用の有無, 多剤 (Met, α GI, TZD)からの切り替え—. 第45回日本糖尿病学会北海道地方会 2011. 11. 23 (札幌)
 - 15) 奥田昌恵, 菅野咲子, 高橋直穂, 山田大志郎, 本庄潤, 曾根博仁, 横山宏樹. 腎症3期の経過観察. 第45回日本糖尿病学会北海道地方会 2011. 11. 23 (札幌)
 - 16) 今田敦子, 菅野咲子, 奥田昌恵, 曾根博仁, 本庄潤, 山田大志郎, 横山宏樹. リラグルチドの多数例での有効無効の検討. 第45回日本糖尿病学会北海道地方会 2011. 11. 23 (札幌)

- 17) 谷内洋子, 田中康弘, 西端泉, 菅原歩美, 児玉暁, 齋藤和美, 曾根博仁. 20歳時BMIは妊娠糖尿病発症を予測する指標として有用である (Tanaka Women's Clinic Study). 第27回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会 2011. 11. 11 (神戸)
- 18) 児玉暁, 堀川千嘉, 平安座依子, 齋藤あき, 菅原歩美, 谷内洋子, 平澤玲子, 藤原和哉, 齋藤和美, 曾根博仁. 胴身長比 (Waist-to-stature ratio : WSR) と2型糖尿病発症 (T2DM) との関連性のメタ解析. 第32回日本肥満学会 2011, 9, 24
- 19) 児玉暁, 平安座依子, 原茂子, 辻裕之, 謝勲東, 荒瀬康司, 曾根博仁. 採血を用いない未診断糖尿病患者簡易発見法の妥当性の検討. 第52回日本人間ドック学会学術大会 2011. 8. 25, 26 (大阪)
- 20) 藤原和哉, 鈴木浩明, 佐藤明, 大崎芳典, 尾本美代子, 豊崎晶子, 平安座依子, 児玉暁, 齋藤和美, 小林和人, 高橋昭光, 矢藤繁, 山田信博, 曾根博仁, 島野仁
Impact of serum lipid level on number of vulnerable coronary plaque (VP) detected by CT angiography (CTA) in asymptomatic patients with type 2 diabetes. 第43回日本動脈硬化学会総会・学術集会 2011. 7. 16 (札幌)
- 21) 菅原歩美, 本橋しのぶ, 曾根博仁, 川井紘一. 当院における治療中断者の臨床像 (第4報); 経済的理由により治療中断した2型糖尿病患者の臨床像. 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 21. (札幌)
- 22) 谷内洋子, 田中康弘, 穴迫唯衣, 西端泉, 近藤和雄, 松岡隆, 島野仁, 児玉暁, 齋藤和美, 曾根博仁. 妊娠時までのBMI変化と妊娠糖尿病発症リスクとの関連 (TWC Study). 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 21. (札幌)
- 23) 沖本信也, 遅野井健, 水谷正一, 荷見澄子, 曾根博仁. 茨城県中央地区におけるシタグリブチン至適投与対象に関する検討について (中間報告). 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 21. (札幌)
- 24) 山下りさ, 菅野咲子, 高橋直穂, 山田大志郎, 本庄潤, 曾根博仁, 横山宏樹. 2型糖尿病のインスリン導入率とインスリン導入予知因子の探索. 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 21. (札幌)
- 25) 佐藤舞菜見, 高橋直穂, 今田敦子, 鈴木美佑希, 山田大志郎, 本庄潤, 曾根博仁, 中村公英, 横山宏樹. シタグリブチンの血糖改善効果は?—単剤投与, 上乘せ, 他剤交換の比較. 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 21. (札幌)

- 26) 藤原和哉, 鈴木浩明, 佐藤明, 大崎芳典, 尾本美代子, 豊崎晶子, 平安座依子, 児玉暁, 齋藤和美, 小林和人, 矢藤繁, 高橋昭光, 山田信博, 曾根博仁, 島野仁. CT coronary angiography (CTA) による冠動脈不安定プラーク (VP) と関連する臨床指標に関する検討. 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 20. (札幌)
- 27) 齋藤和美, 児玉暁, 堀川千嘉, 伊部陽子, 平澤玲子, 谷内洋子, 菅原歩美, 小林和人, 高橋昭光, 島野仁, 山田信博, 曾根博仁. 経口ブドウ糖負荷前・負荷後血糖の心血管疾患リスクの量的関係の解析 (メタアナリシス). 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 20. (札幌)
- 28) 原茂子, 平安座依子, 齋藤和美, 辻裕之, 児玉暁, 謝勲東, 島野仁, 荒瀬康司, 山田信博, 小坂樹徳, 曾根博仁. HbA1cとFPGによる糖代謝異常評価とその後の糖尿病発症リスク (TOPICS). 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 20. (札幌)
- 29) 畑中麻梨恵, 菅野咲子, 高橋直穂, 山田大志郎, 本庄潤, 曾根博仁, 横山宏樹. 患者動向の10年間の推移. 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 20. (札幌)
- 30) 西垣結佳子, 田中司朗, 井藤英喜, 田中佐智子, 鎌田智恵実, 奥村亮太, 堀川千嘉, 片桐あかね, 大橋靖雄, 島野仁, 赤沼安夫, 山田信博, 曾根博仁, 吉村幸雄, JDCSグループ. わが国における2型糖尿病患者の食事摂取の状況: Japan Diabetes Complication Study (JDCS). 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 20. (札幌)
- 31) 今田敦子, 菅野咲子, 高橋直穂, 山田大志郎, 本庄潤, 曾根博仁, 横山宏樹. 1, 5 AGと受診時血糖値、A1cの関連—食後血糖抑制剤使用を含めた検討. 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 20. (札幌)
- 32) 菅野咲子, 奥田昌江, 佐藤舞菜見, 山下りさ, 曾根博仁, 本庄潤, 山田大志郎, 横山宏樹. リラグルチドの多数例での有効無効の検討. 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 20. (札幌)
- 33) 猪苺冬樹, 奥田昌恵, 高橋直穂, 菅野咲子, 本庄潤, 山田大志郎, 曾根博仁, 横山宏樹. IMTの規定因子とIMT変化へ影響する介入因子の検討. 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 19. (札幌)
- 34) 齋藤あき, 平安座依子, 原茂子, 齋藤和美, 辻裕之, 児玉暁, 近藤和雄, 荒瀬康司, 山田信博, 小坂樹徳, 曾根博仁. 生涯最大体重や20歳時の体重はその後の未診断糖尿病や前糖尿病状態の発症と関連する (TOPICS). 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 19. (札幌)

- 35) 奥田昌恵, 猪苧冬樹, 高橋直穂, 佐藤舞菜見, 菅野咲子, 本庄潤, 山田大志郎, 曾根博仁, 横山宏樹. PWVの改善に影響する介入因子の検討. 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 19. (札幌)
- 36) 平安座依子, 原茂子, 齋藤和美, 藤原和哉, 辻裕之, 児玉暁, 謝勲東, 島野仁, 荒瀬康司, 山田信博, 小坂樹徳, 曾根博仁. HbA1cと空腹時血糖値による糖尿病型の判定基準と臨床指標の比較 (TOPICS). 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 19. (札幌)
- 37) 由澤咲子, 平安座依子, 原茂子, 齋藤和美, 飯田薫子, 児玉暁, 謝勲東, 荒瀬康司, 山田信博, 小坂樹徳, 曾根博仁. 採血不要の臨床指標による未診断糖尿病予測スコアリングシステムの開発 (TOPICS). 第54回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011. 5. 19. (札幌)
- 38) 鎌田智英実, 西垣結佳子, 奥村亮太, 田中司朗, 井藤英喜, 田中佐智子, 堀川千嘉, 高橋あかね, 大橋靖雄, 赤沼安夫, 山田信博, 曾根博仁, 吉村幸雄, JDCSグループ. Japan Diabetes Complication Study (JDCS) における日本人2型糖尿病患者の栄養素及び食品摂取状況. 第65回日本栄養・食糧学会大会 2011. 5. 15 (東京)
- 39) 齋藤あき, 西垣結佳子, 川井絃一, 柳澤守文, 栗林伸一, 横山宏樹, 杉本英克, 大石まり子, 和田 崇子, 屋宜宣治, 宮澤一裕, 岩崎皓一, 新井桂子, 藤原和哉, 齋藤和美, 曾根博仁. 2型糖尿病患者における食べる速さの糖尿病コントロールに及ぼす影響. 第65回日本栄養・食糧学会大会 2011. 5. 15 (東京)
- 40) 堀川千嘉, 児玉暁, 谷口絵里香, 谷内洋子, 平澤玲子, 伊部陽子, 西垣結佳子, 齋藤あき, 平安座依子, 飯田薫子, 藤原葉子, 齋藤和美, 曾根博仁. インターネットを用いた生活習慣改善教育における、肥満改善効果の検討: メタ解析による評価. 第65回日本栄養・食糧学会大会 2011. 5. 15 (東京)
- 41) 菅原歩美, 児玉暁, 牧美保, 堀川千嘉, 藤原和哉, 平安座依子, 齋藤あき, 西垣結佳子, 伊部陽子, 平澤玲子, 谷内洋子, 齋藤和美, 曾根博仁. 2型糖尿病患者における、糖・脂質摂取比 (C/F 比) が糖・脂質代謝に及ぼす影響のメタアナリシス. 第65回日本栄養・食糧学会大会 2011. 5. 15 (東京)
- 42) 阿隅美保子, 山口龍生, 松井博滋, 宮澤英充, 児玉暁, 齋藤和美, 飯田薫子, 近藤和雄, 曾根博仁, 鈴木恵美子. 日本人男性における喫煙状況と無症候性脳梗塞の関連性—喫煙指数を用いた横断的検討. 第65回日本栄養・食糧学会大会 2011. 5. 14 (東京)

- 43) 進藤弥生, 皆川健太, 曾根博仁, 飯田薫子. 栄養指導法を参考にした新しい運動指導の試み～脂質代謝異常症患者での検討. 第65回日本栄養・食糧学会大会 2011. 5. 14 (東京)
- 44) 平澤玲子, 谷内洋子, 堀川千嘉, 平安座依子, 齋藤あき, 藤原和哉, 菅原歩美, 齋藤和美, 飯田薫子, 藤原葉子, 近藤和雄, 曾根博仁. 食生活に関する国際的ウェブ情報のクオリティの検証－ Mediterranean diet を例に－. 第65回日本栄養・食糧学会大会 2011. 5. 14 (東京)
- 45) 谷内洋子, 田中康弘, 穴迫唯衣, 菅原歩美, 戸塚久美子, 赤松利恵, 近藤和雄, 鈴木恵美子, 飯田薫子, 児玉 暁, 齋藤和美, 曾根博仁. 二十歳時から妊娠時までのBMI 変化と妊娠糖尿病発症リスクとの関連 (TWC Study) . 第65回日本栄養・食糧学会大会 2011. 5. 14 (東京)
- 46) 平安座依子, 原茂子, 齋藤和美, 児玉暁, 飯田薫子, 赤松利恵, 鈴木恵美子, 近藤和雄, 荒瀬康司, 山田信博, 小坂樹徳, 曾根博仁. 生涯最大体重や20歳時の体重はその後の未診断糖尿病や前糖尿病状態の発症と関連する (TOPICS). 第65回日本栄養・食糧学会大会 2011. 5. 14 (東京)
- 47) 児玉暁, 齋藤和美, 藤原和哉, 小林和人, 矢藤繁, 高橋昭光, 鈴木浩明, 島野仁, 山田信博, 曾根博仁. メタ解析からみた卵摂取と心血管疾患リスク上昇との関連性の考察. 第108回日本内科学会2011. 4. 16 (東京)